

アート×デザインで障がいのある人々の新しい仕事づくりを推進

一般財団法人たんぽぽの家 奈良県奈良市

1976年に設立された一般財団法人たんぽぽの家は、障がい者アートの草分け的存在である。

活動初期から携わる同財団の播磨靖夫理事長は、「ソーシャル・インクルージョン※」をテーマに、障がいのある人々の個性輝く場づくりに尽力してきた。「わたぼうし音楽祭」をはじめ、アート（芸術）とケア（福祉）の視点で展開される取組みは、社会から高く評価されている。

※「社会的包摂（包容）」と訳され、あらゆる人が健康で文化的な生活を実現できるよう、社会の中で互いに支え合うこと。

同財団が、他のNPO法人と共同で近年新たに立ち上げた「Good Job! プロジェクト」は、障がいのある人々のアートを活かし、デザイナーと連携して一定のクオリティの製品をつくる等、新しい仕事や働き方の仕組みをつくる試みである（詳細は下表）。

Good Job! プロジェクトの主な取組み	
主な取組み	内 容
エイブルアート・カンパニー（2007年～）	全国の障がいのあるアーティスト104人、約1万点の作品データをWebサイトで公開、利用を希望する企業等との橋渡しを行う。
Good Job! 展（2012年～）	障がいのある人々のアートを活かした魅力的なプロダクトや企業と福祉の協働から生まれる仕事を紹介する展示会を、全国主要都市を巡回して開催。
Good Job! アワード（2015年～）	障がいのある人々やその周辺の魅力的なプロダクトやユニークな取組みを公募し、クリエイターや福祉・アートのNPO等が審査、優秀作品を社会に発信。
Good Job! センター香芝（2016年～）	誰もが生きがいをもって働くための拠点として、「アート×デザインによる新しい仕事の創出」「異分野をつなぐプラットフォームの構築」「所得の再分配から可能性の再分配へ」を目指す。

その背景には「障がいのある人々の仕事は単純労働が中心で給与水準は一般的に低く、仕事のやりがいを実感することが難しい」（播磨理事長）との問題意識があった。

同プロジェクトの契機となった「エイブルアート・カンパニー」では、障がいのある人々が制作した絵画を使用した商品がつくられ、企業からライセンス収入が得られた。何より、作品をあしらったバッグや下着等が百貨店に並び、障がいのある

人々のモチベーション向上につながった。

その後「Good Job! 展」や「Good Job! アワード」の開催を通じ、個性的な取組みを行う各地の福祉施設、協力的なデザイナーや企業等とつながる中で、新しい仕事や働き方の仕組みを実験・実践し、発信するための拠点が必要となった。

そこで本年9月、3Dプリンタ等のデジタル工作機を備えた「Good Job! センター香芝」（香芝市）を新設。オリジナルグッズや企業とのコラボ商品等の開発・製造・流通の各工程に、障がいのある人々が従事している。

本年10月、一連の「Good Job! プロジェクト」は公益財団法人日本デザイン振興会の2016年度グッドデザイン賞・金賞（経済産業大臣賞）を受賞した。社会の課題に対する取組みの内容、将来に向けた提案性や完成度の高さ等、総合的な観点から優れたデザインと評価されたもので、金賞には応募総数4,085件のうち19件が選ばれた。

播磨理事長は「近年、福祉・芸術界だけでなく、経済界からの視察や研修の依頼が増加している。ダイバーシティ（多様性）の最前線である福祉の現場にこそ、資本主義の行き詰まりを解消するヒントがあるのではないか」と語る。（太田宜志）



Good Job! センター香芝（左）



障がいのある人々がつくる、同センターのマスコット“Good Dog”（右）

一般財団法人 たんぽぽの家

〒630-8044
奈良県奈良市六条西3-25-4
TEL: 0742-43-7055
FAX: 0742-49-5501
URL: <http://tanpoponoye.org/>
<http://goodjobcenter.com/>



播磨靖夫 氏